

令和3年度共同生活援助事業（介護サービス包括型）
グループホーム「ラルクホーム」事業計画

1 概要

- ・事業所の名称及び定員 ラルクホーム（定員12名）
- ・事業所の所在地 名古屋市天白区高島2丁目701番地
- ・事業所開設年月日 平成13年5月1日
- ・共同生活住居（5か所）の名称、所在地
名古屋市天白区高島2丁目701番地 オデッセイ島田
B棟（男性）3か所（みかーさ、れいーる、ふるーる）
C棟（女性）2カ所（ばぐーす、ぷらっと）
- ・連携施設 障害者支援施設 福寿荘

2 基本運営方針

○利用者の人格に十分に配慮し、地域で家庭的な雰囲気のもと、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう当該利用者の身体及び精神の状況または環境等の状態に応じて、利用者が自主性を保ち、意欲的に日々の生活を送ることができるよう必要な介護、生活上の援助を行う。

3 重点対策

- ・利用者の権利擁護に努め、地域において自立した生活をおくれるよう日常生活上の各種支援を適切に実施する。また、虐待防止を推進するため委員会設置はじめ職員研修の実施などにより虐待の未然防止に取り組むとともに身体拘束廃止について推進していく。
- ・新型コロナウイルス感染症はじめ感染症予防対策に引き続き取り組み、集団生活において手洗いはじめ利用者の日常生活面での感染防止に努め、健康管理を実施する。
- ・利用者の障害程度の重度化や高齢化に対応し、適切な支援を実施する。
- ・関係機関、家族等と密接な連携のもとで支援に努めるとともに地域との交流を深める。
- ・火災予防、防災対策に取り組む、利用者が安心安全に生活できるよう支援する。
- ・欠員状態の早期解消をめざし、共同生活援助サービス費「体験利用」制度を活用し入所の促進を図り定員充足に努める。

3 各種支援

（1）日常生活支援

- ・自立した生活 地域において自立生活を送るうえで必要となる支援を行う。また、生活を送る上で必要な入浴・排せつ等の身辺処理の助言・介助を行う
- ・意思の尊重 利用者が適切な支援を得るために、自己の意思によることがきくよう利用者と世話人の関係の構築に努めると共に、常日頃より

生活の質の向上を目指し支援する。

- ・健康管理 医療機関及びバックアップ施設と連携のもとに通院、健康診断（年1回）、服薬等の支援を実施する。また、利用者が自ら健康管理に取り組むよう感染症予防等に関する支援を行なう。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症はじめ集団感染防止については、各人の手洗い、手指消毒の励行及び日々のホーム内のトイレ等の接触場所を中心に消毒及び室内換気の徹底をしていく。

また、屋外ではマスク着用等感染防止を実施すると共に、医療機関及び連携施設と連携情報共有し感染防止に努めていく。

(2) 充実した余暇支援

- ・利用者個々にあった余暇活動の充実。
- ・コロナ禍における、行事等については、集団感染防止のため三密を避けた企画内容とする。また、流行期には、内容の変更も視野に入れ、実施していく。
- ・各種行事の提供
花見（4月）、七夕（7月）、夏祭り、川遊び・花火大会見学（8月）
運動会（10月）、クリスマス会（12月）、初詣（1月）、豆まき（2月）
（毎月 保護者会、年1回 旅行）

(3) 日中活動支援

- ・日中活動の場の確保 利用者の意思を尊重し、常に関係機関と連携をとり安定した日中活動の場の確保に努める。

(4) 金銭管理支援

- ・年金はじめ財産管理等の日常生活に必要な管理を行う。

4 家族、地域住民との交流・連携

5 火災予防、災害対策

- ・緊急時や災害時に必要となる対処方法等の援助をしつつ、バックアップ施設や近隣事業所との連携に努め、安全で安心した生活が送れるよう支援する。
- ・防火防災訓練（年2回、9・2月）